

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公表番号】特表2014-527438(P2014-527438A)

【公表日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-057

【出願番号】特願2014-525393(P2014-525393)

【国際特許分類】

A 4 7 B 55/00 (2006.01)

E 0 5 F 1/16 (2006.01)

【F I】

A 4 7 B 55/00

E 0 5 F 1/16 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月7日(2015.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

図 1 に示すように、引き戸の中間位置から右方への移動時に、左側の側部スライド 4 0 は Y の負の方向に下向きに押される制御スライダ 4 0 0 によってハウジング 1 0 上の右内側停止位置に固定され、中間スライド 3 0 から分離される。制御スライダ 4 0 0 の制御トラック 1 5 の曲げ領域への変位は、連結スロット 3 5 の斜めに延びた上部 3 7 b に支持される。他方の右側の側部スライド 5 0 は、右側の制御スライダ 5 0 0 によって中間スライド 3 0 に連結され、図 2 に示すように、該制御スライダ 5 0 0 は連結スロット 3 6 内を正の Y 方向に押し上げられ、同様に右に動く。制御スライダ 5 0 0 の連結スロット 3 6 内への挿入は、該連結スロット 3 6 の斜めに延びる底部 3 8 a に支持される。開位置として知られる右側停止位置にて、各ガイドピンが案内路 1 2 の曲げ領域内に挿入されるとき、キャリア 2 0 の口は右側の側部爪 2 3 の移動によって開かれる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

図 3 A 及び図 3 B に示すように、右側の側部スライド 5 0 は、図 1 A 及び図 1 B に示す駆動体 4 の中間位置から左への移動時に、鏡転する方法で、左側の停止位置に固定され、中間スライド 3 0 から離される。然るに、中間スライド 3 0 に連結された左側の側部スライド 4 0 は、曲がった案内路 1 2 によって案内される左側の側部爪 2 2 がキャリア 2 0 の開口を開き、同時にキャリア 2 0 と中間スライド 3 0 と左側の側部スライド 4 0 が示された左端位置に固定されるまで、上向きに押される制御スライダ 4 0 0 によって左に動かされる。制御スライダ 5 0 0 が制御トラック 1 6 の曲げ領域に変位することは、連結スロット 3 6 の斜めに延びる底部 3 8 b によって支持される。制御スライダ 4 0 0 の連結スロット 3 5 への挿入は、連結スロット 3 5 の斜めに延びる底部 3 7 a によって支持される。